



「龍馬がゆく」

司馬遼太郎著 文春文庫



池澤 渥

(野木町図書館長)

ご存じ、司馬遼太郎の代表作である長編歴史小説。歴史に埋もれていた坂本龍馬を、一躍日本史上最大級の人気者にし、今日の龍馬像を確立すると共に、幕末維新史に決定的な影響を与えた大ベストセラーである。龍馬を中心に壮大なスケールで物語が展開し、なおかつ龍馬を取り巻く人物や時代背景についての描写も実に分かりやすく、フィクションなのに読者がノンフィクションのように読んでいくように錯覚してしまう、司馬文学の魅力が凝縮している作品である。

最初に読んだのは大学生の時であった。幕末維新という激動の中で、男のロマンと矜持があり、男と男の友情と信頼があり、生死を賭けた決断と美学があるこの作品は感動的であった。その後何度も読み返したが、その都度、当時の感動が甦ってくる「私の青春の書」である。

この作品が世に出てから半世紀以上になるが、少しも色あせないこの傑作を今の若い人たちにぜひ読んでほしいものである。己の信ずるところに従い時代を駆け抜けていった龍馬の魅力ある言動は、皆さんに夢と元氣と勇氣を、そして人生の指針を与えてくれるのではないだろうか。

のぎっ子通信

赤羽みちえ



関東どまんなかサミットに
栃木市が加わりました



←右から栃木市長、野木町長、古河市長、加須市長、板倉町長

5月27日(金)、野木ホフマン館で「関東どまんなかサミット会議調印式」が行われました。

「関東どまんなかサミット会議」は、県境に位置する隣接自治体(野木町、茨城県古河市、埼玉県加須市、群馬県板倉町)の4市町で構成されていましたが、この度新たに栃木市が加わり、より一層の連携を深めながらこの地域全体の活性化を目指すものです。

調印式には、関係市町長が出席し、「公の施設の相互利用に関する協定」及び「災害時における相互応援に関する協定」を締結し、相互の協力・連携体制の強化を約束しました。

問総合政策部政策課 ㊟(57)4101



むらかみ
あいらり
村上 愛里ちゃん(8か月)



にっこい Smile の愛里ちゃん♡
お兄ちゃんと一緒に柔道がんばります！

問総合政策部政策課㊟(57)4134

町の人口 6月1日現在

◇人口 男 12,576人 女 12,729人 計 25,305人 ◇世帯数 9,684